

●受付方法から検査キットについて

- ①例年ご提出いただいております申込書と併せて、「**受診者名簿**」のご提出をお願いいたします。記入方法等の詳細は裏面の「平成 29 年度定期健康診断・有機溶剤健康診断受診者名簿」及び、記入例をご確認ください。
- ②検査キット（問診票・検尿スポイト等の受渡しについて）
ご提出していただいた受診者名簿を基に、「企業名」「受診者名」等を印字した受診票及び検査キットを、**9月25日（月）**までにご郵送いたします。

●受診料金及び項目

区分	年齢・対象等	項目名	受診料（税込）		
			①一般事業所	②つつじ共済 又は福祉プラン 加入事業所	③労働保険事務組 合加入・建設一人親 方組合加入事業所
一般検診A	34歳以下と 36歳～39歳	胸部レントゲン直接撮影、血圧、身長、体重、視力、尿検査（蛋白、糖、潜血、ウレターゼン）	1名 1,540円	1名 1,040円	1名 840円
一般検診B	35歳と 40歳以上	一般検診Aの項目に加え、胸囲、聴力検査、心電図検査、血液検査（貧血、肝機能、血中脂質、HbA1c）	1名 5,960円	1名 4,760円	1名 4,560円
胃部レントゲン	希望者	胃がん、胃潰瘍、胃炎等異常有無	1名 3,700円	1名 3,300円	1名 3,100円

- * 年齢的に「一般検診A」該当者が「一般検診B」を受診しても問題ありません。
- * 「胸部レントゲン直接撮影」は、結核検査が目的であり、がん検査が目的ではありません。
- * 年齢・対象欄の年齢は、労働安全衛生法で「常時50人以上の労働者を使用する事業主」に労働基準監督署へ結果報告書提出が義務づけられている年齢です。
- * 「②つつじ共済又は福祉プラン加入事業所」と「③当所労働保険事務組合・建設一人親方組合加入事業所」の両方に該当の場合は「③当所労働保険事務組合加入事業所・建設一人親方組合加入事業所」の受診料になります。
- * オプション検査は、労働安全衛生法で受診の義務はありません。希望する事業所のみお申し込みください。

【オプション検査 *つつじ共済、労働保険事務組合等の加入による受診料割引はありません。】

●有機溶剤健康診断区分及び受診料

通常業務で有機溶剤を含んだ塗料・洗浄剤・接着剤などを使用している従業員が対象です。

区分（有機溶剤の種類）	有機溶剤健康診断のみ	一般検診Aと 同時受診	一般検診Bと 同時受診	検診内容 （有機溶剤健康診断のみの場合）
① キロリン、スズレン、トルエン、1・1・1-トリ クロロエタン、フルルヘキサン	1名 3,000円	1名2,800円 （一般検診受診料に追加）		問診票による既往症・自覚症の有無、尿蛋白
② N・N-ジメチルホルムアルデヒド、トリ クロエチレン、テトラクロエチレン	1名 4,200円	1名4,000円 （一般検診受診料に追加）		上記に加え肝機能（GOT、GPT、γGTP）

* 一般検診AまたはBと同時受診の場合は、重複する検診内容は省略します。

●特定化学物質健康診断

特定化学物質健康診断	血液検査・診察及び問診 等 *血液検査含む （エチルベンゼン・TDI・コバルト・クロロホルム 等）	1名2,140円 （一般検診受診料に追加）
------------	--	--------------------------

※使用されている特定化学物質により、検査項目が異なります。ご了承ください。

●じん肺検診受診料

じん肺検診のみ	一般検診Aと同時受診	一般検診Bと同時受診
1名3,250円 （一般検診受診料に追加）		

●その他 健康診断オプション検査項目及び受診料

検査説明は下記をご確認ください。

オプション項目	検査内容	検査項目	受診料 (税込み)
男性用がん検査 ※CEA・AFP・CA19-9・PSA 女性用がん検査 ※CEA・AFP・CA19-9・CA125 (腫瘍マーカーセット)	体内にがんができると、健康なときにはほとんどみられない特殊な蛋白や酵素、ホルモンなどが、血液や尿中に異常に増えます。この特殊な物質が腫瘍マーカーです。腫瘍マーカーはがん発見のためのスクリーニング（ふるいわけ）検査として活用されています。また腫瘍マーカーが異常値を示してもがんとは限りません。良性的腫瘍やその他の病気でも異常値を示す場合があります。	肝臓(AFP)・膵臓(CA19-9) 肺・肺(CEA) * 前立腺(PSA) 又は 卵巣(CA125)	1名 5,500円
前立腺がん検査	前立腺がん・前立腺肥大症や前立腺炎などの早期発見に役立ちます。	前立腺(PSA)	1名 3,500円

*** 男性用がん検査（腫瘍マーカーセット）の中には前立腺がん検査は含まれています。**

ピロリ菌・ ペプシノーゲン検査 (ABC検診)	血液中に含まれるペプシノーゲンというたんぱく質を調べ、胃の萎縮の度合いを検査する方法です。胃の萎縮は胃がんの発生の危険率が高いため、ペプシノーゲン検査は胃がんのスクリーニング検査として用いられます。しかし、ペプシノーゲン検査はあくまでも胃の萎縮を調べるものであり、胃がんの直接的マーカーではありません。したがって、この検査が陰性でも必ずしも胃がんではないといえません。 胃潰瘍や十二指腸潰瘍の90%以上でピロリ菌が陽性を占めているといわれ、胃がんにも大きく関係していると考えられています。ただしピロリ菌が陽性でも潰瘍にならない人、陰性でも潰瘍になる人もあり、ピロリ菌だけが胃・十二指腸潰瘍の原因とはいえません。胃・十二指腸潰瘍を繰り返して再発する人が、陽性と出ればピロリ菌の関与が濃厚になります。また併せてペプシノーゲン検査を行うと、慢性胃炎や萎縮性胃炎の進行が判別できます。	慢性胃炎、萎縮性胃炎胃潰瘍、十二指腸潰瘍	1名 2,500円
大腸がん検査 (2日法)	大腸の中に潰瘍やポリープ、がんができていると出血がみつかることがあります。体外に排出された便の中に血液の反応があるかどうかを調べ、身体の中の出血がないかどうかを確かめる検査です。もちろん、出血があったからといってがんだというわけではありませんが、身体のどこでどんな理由で出血が起きているかを調べるため、精密検査への足がかりとなります。	便潜血反応検査(2日法) ご家庭で便を2日分採取し、受付に提出して下さい。	1名 1,350円
子宮がん検査 (自己採取方式)	初期の子宮頸がんは無症状のため、婦人科専門医の定期検診を受けることが必要です。しかし、事情によりこのような検診を受けにくい女性も多いため自己採取をご案内しております。早期発見により、治療可能なので、早めの検査が大切です。	専用器具を使ってご自分で検査し、受付に提出して下さい。	1名 4,000円

●お問い合わせ

【申込みに関するお問い合わせ先】

小牧商工会議所 企画運営課 小牧市小牧五丁目 253 番地 TEL (0568) 72-1111

【受診票及び健診結果に関するお問い合わせ先】

一般財団法人公衆保健協会 名古屋市中央区黄金通2丁目 45 番地 2 TEL (052) 481-2161